

徳川治績年間紀事 寄別7-5-1-1 00-007



徳川
治績
年間紀事

慶應元年五月十六日の早天征夷
將軍家茂公江戸城と進發せし全員の
馬標ハ真光小輝と衛從の壯士ハ前
後と因縁と皆鐵袍と着陣笠被
戴く諸氏行粧と拜する者街は満て品
驛に至り難城立るの地んぢをまてり
群集せし間五月廿三日八洛のう承て大
阪を下り去年八月長藩士輩下り暴
動を起し罪と糾さん為りしと公阪
城に滞在中城内東の馬場にて旗下の
壯士を命あつて武藝の演習せしあつ
或時ハ紅白の二隊に分ち勝負と判じ
上覧のしる敷度ありと公が在職
九年間内外多事不苦一みて憂慮
せしはゆへに名にりし其の長りて
翌年八月十日大阪城を非難をあげて

二十四代 昭徳院殿家茂公

徳川昭徳院殿家茂公
南天區加
南金天ノ
御區日
名孫兵衛



徳川治績年間紀事 寄別7-5-1-1 00-008

国立国会図書館





月岡米次郎
 大倉経兵衛
 田原

天正十一年
 南天
 米次郎
 経兵衛

工銀
 万孫

徳川治績年間紀事 寄別7-5-1-1 00-009

国立国会図書館

